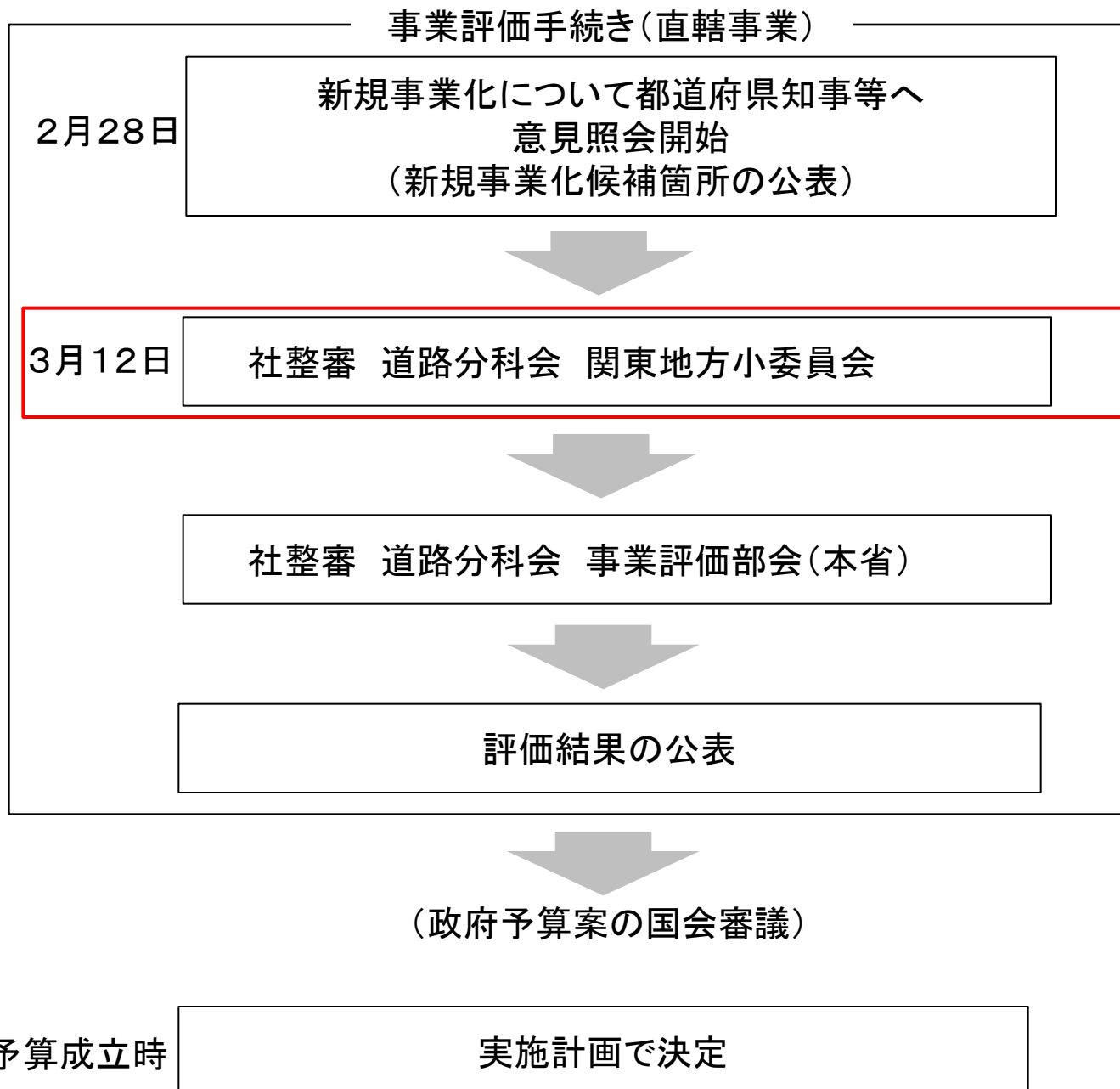


# 新規事業候補箇所の選定の考え方

---

# ◆新規事業採択時評価の流れ(予定)



# ◆新規事業化候補箇所の選定の考え方

## 1. 関東の直轄国道全線（約2,404km）【2,063区間】

○H27一般交通量調査区間毎に分割  
 (H22からの変更点：追加24区間、統合1区間、分割48区間、移管35区間)

## 2. 課題箇所の抽出 指標のいずれかに該当【1,430区間】

- 指標
- ①社会経済：主要渋滞箇所が確認されている区間
  - ②交通安全：事故危険区間が確認されている区間
  - ③防災：要防災対策箇所及び津波浸水想定区域に該当する区間
  - ④まちづくり：公的な面整備と一体的な整備が必要な区間

## 3. 課題解消に向けた改築事業を未実施の区間【179区間(50箇所)】

## 4. 調査の熟度を確認【83区間(28箇所)】

⇒上記区間のうち、都市計画決定等により詳細なルート・構造が確定したものを抽出

## 5. 周辺ネットワークの整備状況を確認【1区間(1箇所)】

⇒ネットワーク形成の観点から次に着手すべき箇所であり、かつ隣接区間の整備に一定程度の目処がたったものを抽出

**H30新規事業候補箇所の選定結果**  
 ・一般国道6号牛久土浦バイパス（Ⅲ期）

課題	指標		判定	
① 社会経済	渋滞箇所	主要渋滞箇所が確認される区間	主要渋滞箇所に該当	主要渋滞箇所公表資料(H29)
② 交通安全	事故危険区間	事故危険区間が確認される区間	事故危険箇所に該当	地域の委員会等で特定された区間
③ 防災	要防災対策箇所	要防災対策箇所に該当する区間	要防災対策箇所に該当	要防災対策箇所データ(H29)
	津波浸水想定区域	津波浸水想定区域に該当する区間	津波浸水想定区域に該当	各自自治体ハザードマップ
④ まちづくり	公的な面整備箇所	公的な面整備と一体的な整備が必要な区間	各自自治体等の開発計画に該当	各自自治体等の開発計画

# ◆関東ブロックにおける新規事業化候補箇所

